

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード		4-2-1			事業名	落葉から環境保全と地域交流事業(香りとみどりにあふれたまちづくり)	
担当		南区土木部維持管理課 川口 TEL 581-3811					
全 体 計 画							
事業内容	当区では落葉・剪定枝配布と腐葉土製作を協働で行う「みどりのリサイクル事業」が既に軌道に乗っており、今回、これらの事業の拡大を目指し、区内全域を対象に住民・学校等との連携により「落葉から堆肥へ」を合言葉に、落葉ヤードの設置や「落葉の講習会」等みどりのリサイクル事業を進めている。 また、宿根草・香りのある草花(ハーブ)を主体とした循環型モデルガーデンを地域住民が主体となって製作することで、住民の連携・交流をより一層促進する。					<年度別の事業内容>	
						●平成19年度(実績) ・落葉配布・堆肥化公園:5ヶ所 ・落葉の堆肥化に関わる講習会等:5回 ●平成20年度(実績) ・落葉配布・堆肥化公園:6ヶ所 ・落葉の堆肥化に関わる講習会等:8回 ●平成21年度(実績) ・落葉配布・堆肥化公園:5ヶ所 ・落葉の堆肥化に関わる講習会等:6回 ●平成22年度(予定) ・落葉配布・堆肥化公園:10ヶ所 ・落葉の堆肥化に関わる講習会等:5回	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)					平成20年度事業内容(決算)	
	●落葉集積・配布公園 ・泉町公園(街区) ・真駒内第一公園(街区) ●堆肥づくり ・ときわアートの丘公園(街区) ・みすまい星の子公園(街区) ・西藤野みつき公園(街区) ●落葉の堆肥化に関わる講習会等 ・落葉の会(エドウィン・ダン記念公園) 3回 ・定山溪中学校 1回 ・真駒内曙小学校 1回 ●モデルガーデン製作 ・定山溪中学校 ・みそマップ会館前 ・藤野西通 ●宿根草預託、落葉ヤードづくり等 ・北海道文教短大明清高校					●落葉集積・配布公園 ・藤野そよかぜ公園(街区) ・藤野さわやか公園(街区) ・真駒内めぐみ公園(街区)ほか3公園等 ●堆肥づくり ・石山小学校 ・北海道文教大学明清高校 ●落葉の堆肥化に関わる講習会等 ・みそマップ会館 1回 ・落葉の会(エドウィン・ダン記念公園) 3回 ・老人福祉センター等(南区:1回、手稲区2回) ・真駒内曙小学校 1回 ●モデルガーデン製作 ・エドウィン・ダン記念公園 ・石山小学校 ・定山溪中学校 ・定山溪小学校	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)					平成22年度事業内容(予算)	
	●落葉集積・配布公園 ・十五島公園(近隣) ・本町りんご(街区) ●堆肥づくり ・澄川小学校 ・藤野高台公園(街区) ・農地(真駒内) ●落葉の堆肥化に関わる講習会等 ・落葉の会(エドウィン・ダン記念公園) 3回 ・環境教育講座(南沢えいと公園、藻南公園、藻岩下公園) ●モデルガーデン ・石山さんかく公園 ・エドウィン・ダン記念公園					●落葉集積・配布公園 ・藻岩下こぶし(街区) ●堆肥づくり ・精進川緑地 ・藤野河畔緑地 ・藤野ふれあい公園 ●落葉の堆肥化に関わる講習会等 ・落葉の会(エドウィン・ダン記念公園) 3回 ・環境教育講座(南沢えいと公園、藻南公園、藻岩下公園) ●モデルガーデン ・エドウィン・ダン記念公園	

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-2-1		事業名	落葉から環境保全と地域交流事業(香りとみどりにあふれたまちづくり)			
達成目標の状況							
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
落葉から環境保全と地域交流事業参加団体(累計)	2団体	5団体	10団体	14団体	15団体	15団体	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 地元町内会と石山南小学校の生徒らによって、石山さんかく公園で循環型モデルガーデン(ハーブガーデン)を製作した。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力]</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 落葉をより良い堆肥にするための「落葉の講習会」の開催や、ハーブ等植物に詳しい「ハーブコーディネーター」に花壇づくりの講師を依頼するなど、地域住民が参加しやすい環境づくりに勤めている</p>							
評 価 (成 果)				課 題			
<p>ハーブ等を主体としたガーデニングの紹介や講座の開催を通して「ハーブコーディネーター」などの地域の新たなリーダーが生まれている。また、公共用地にハーブを主体とした花壇づくりを通して地域内の交流が、学校の花壇作りでは世代間交流が活性化しつつある。</p> <p>落葉の利用・堆肥化については、落葉ヤードの設置により、今までゴミとして出されたいものが土壌改良剤として家庭菜園や花壇に利用される利点や、落葉処理に伴う集積・運搬・投棄の費用の節減に寄与している。</p>				<p>今後、落葉ヤードの設置箇所を増やそうとしているが、資材が焼き丸太とコンパネであるため、その耐用年数が短く、取替え時期が比較的早いことから、事業継続の観点で、安価で耐久性のある施設の改良が必要となっている。</p>			
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向							
<p>地域から出たものは地域に還すという「落葉のリサイクル事業」は、環境保全及び教育の面において十分に推進する価値があり、落葉での堆肥づくりやそこから生まれる堆肥を利用した花壇づくりは、地域や学校の参加による地域内及び世代間の交流が促進されるなど地域コミュニティの活性化に効果があることから、当事業を継続する。</p>							
